

令和7年度外部評価 質問票

施策2 地域の防災対応力の強化(担当:田渕委員)

質問No.	事務事業名等 (ブルダウンメニューより選択)	質問内容	
1	消防団等運営助成	委員記入欄	・事業内容には補助金交付の記載しかいませんが、団員の確保等に係る周知啓発活動等も区の事業ではないのでしょうか。
		所管課回答欄	・ご指摘の通り、団員の確保等に係る周知啓発活動等も区の事業ですので、次年度以降記載してまいります。
2	消防団等運営助成	委員記入欄	・令和2年度の事業費が、令和3年度以降に比べて、約130万円増の要因をお知らせください。
		所管課回答欄	・コロナ禍を機に令和3年度からの訓練やPR等の活動費のあり方を消防署と協議した結果、消防団への補助金を減額したことが要因です。
3	防災意識の高揚	委員記入欄	・感電ブレーカーの設置推進について、単年度の実績より累計あるいは全世帯における設置率でチェックしていく方が、改善に向けては有効ではないでしょうか。
		所管課回答欄	・ご指摘の点を踏まえ、感震ブレーカーの設置推進を図るまでのチェック方法について検討してまいります。また、感震ブレーカーの単年度ごとの実績に加え、今後は累計も表記してまいります。
4	防災意識の高揚	委員記入欄	・活動指標「震災救援所運営連絡会の実施回数」について、どのような根拠で200回という計画値が設定されたのでしょうか。
		所管課回答欄	・災害時における震災救援所の運営をより円滑に行うためには、連絡会等による平時からの地域同士の顔合わせや話し合いによる連携が重要となります。そのため、区内に65箇所ある震災救援所について、連絡会を1箇所あたり平均で年3回以上実施することを目標としています。
5	災害応急対策	委員記入欄	・活動指標「水防配備態勢の回数」について、計画は4回とされていますが、災害の回数の計画値は設定できません。 活動指標としては、「回数」ではなく「対応率」とするのが適切ではないでしょうか。
		所管課回答欄	・ご指摘の点を踏まえ、活動指標を「対応率」とする方向で検討してまいります。
6	災害時情報連絡体制の確立	委員記入欄	・地域BWAカメラの整備状況を指標化できないでしょうか。
		所管課回答欄	・令和6年度末時点で地域BWAカメラは9台設置し、令和7年度に4台、令和8年度に3台ずつ設置し、合計16台にする計画です。今後は、ご指摘の通り、整備状況が分かるように指標化を検討していきます。

質問No.	事務事業名等 (フルダウントメニューより選択)	質問内容	
7	防災施設整備	委員記入欄	・区の備蓄状況を測る指標として、「対応日数」(計画3日・実績2.8日)がわかりやすいのではないでしょうか。
		所管課回答欄	・ご指摘のとおり、修正いたします。なお、令和7年度に0.2日分を備蓄し(計画3日・実績3日)完了いたしました。
8	防災施設整備	委員記入欄	・成果指標「学校防災倉庫の整備数」について、なぜ活動指標「備蓄倉庫・学校防災倉庫の整備数」から「備蓄倉庫」を外して、成果指標として設定されているのでしょうか。
		所管課回答欄	・備蓄倉庫は、建設する際に中の棚も設置しています。一方、学校の防災倉庫は、学校の実情によりいくつかのパターンがあります。イナバ物置などを建てる場合もあれば、余裕教室がある学校は、教室の一つを防災倉庫にしている所もございます。そのため、成果指標では、学校防災倉庫に対象を絞りました。
9	防災施設整備	委員記入欄	・施策目標にある発災時の電源確保に係る事務事業として、当該事務事業で電源確保の状況を指標化し評価していく必要があるのではないかでしょうか。
		所管課回答欄	・令4年度から令和11年度にかけて太陽光発電による非常用発電設備がない震災救援所23か所にポータブル型蓄電池(各所3台)の配備計画を、令和6年度に前倒しで配備(計画23所・実績23所)し完了しているため、指標化は行いませんでした。
10	災害時要配慮者支援対策	委員記入欄	・成果指標「地域のたすけあいネットワーク登録率」について、計画値を32.9とした根拠をお知らせください。
		所管課回答欄	・避難行動要支援者名簿に登録する見込数のうち、例年の地域のたすけあいネットワーク登録者数の傾向(約3割)から算出した数値です。
11	災害時要配慮者支援対策	委員記入欄	・令和8年度の方針 I.事業コストの方向性が「拡充」となっていますが、記載理由の前段の内容は、手段の見直し等で対応可能と思われます。拡充の根拠は、妊産婦及び乳児向けの備蓄品の整備に係るコストが新たに発生するためということでしょうか。
		所管課回答欄	・お見込みのとおりです。当課では、妊産婦及び乳児向けの避難生活の支援体制の整備等が課題となっており、令和8年度中に区の第二次救援所(地域区民センター)の中に(仮)妊産婦母子救援所としての機能を持たせていく予定です。それに伴い、妊産婦及び乳児向けの備蓄品を整備していきます。
12		委員記入欄	【施策】【課題の分析】2段落目 ・防災訓練に参加できない方向けの、区の防災力向上に係る動画等のオンラインの活用状況をお知らせください。
		所管課回答欄	・杉並区公式チャンネルのユーチューブ動画で、資器材取扱の紹介を行うとともに、"すぎなみスタイル"という7分間の区PR動画で「家具の転倒防止」や「感震ブレーカー」など複数のテーマごとに作成しています。
13		委員記入欄	【施策】【今後の施策の方向性】 ・当該施策を構成する7つの事務事業のうち、「拡充」は1事務事業となっています。 【今後の進め方】に記載の内容では、拡充ではなく、現状維持ではないでしょうか。
		所管課回答欄	・「拡充」は1事業しかなかったものの、中長期という観点から3~5年先を見据え「拡充」を選択しましたが、今後選択する際は、ご指摘を踏まえ判断してまいります。